

大項目 1 （１）海洋・地球総合ミュージアムについて

創生静岡における発言と取り組み

時期・場面	議員	発言と求めた内容
R4.3.11 観光文化経済委員会	白鳥 実	議案第 26 号（R4 年度当初予算）の修正案を提出。海洋文化施設建設費 1,383 万 6 千円の減額と、債務負担行為「海洋文化施設整備事業費」169 億 6,000 万円（R5～22 年度）の削除を求めた。
R4.3.18 本会議（提出者）	8 名連名	白鳥実・安竹信男・栗田裕之・風間重樹・石井孝治・宮澤圭輔・浜田佑介・長沼滋雄の連名で、歳入歳出を 3,377 億 8,616 万 4 千円に減額し債務負担行為を削除する修正案を提出。
R4.3.18 本会議（提案理由）	石井 孝治	2019 年 9 月に可決されコロナで白紙化した事業を、計画を変えないまま再提案したものと指摘。総事業費 240 億円、プロフィットロスシェアまで導入して進める事業なのか疑問とした。委員会の当局説明で、①市民説明会も意向調査も今後行わない、②周辺の民間投資は見込みにすぎず全体像が不明確、③入館者予測は同規模施設と同等以上という極めて楽観的、と明らかになったとして事業再開に反対。
R4.3.18 本会議（討論）	風間 重樹	3 点を挙げて反対。①収支予測＝当初は独立採算とされたが、運営費 140 億円の 2 分の 1・約 70 億円を市が負担すること。2019 年 12 月の三役への情報提供会議録では、市が 15 年間 700 万人と見込む一方、事業者は「市場規模が不透明で見込みは乖離、提案時は市の見込みに近づけるため楽観的な計画とせざるを得ず下振れリスクがある」としていた。のと同じま臨海公園水族館の有料入館者は 35 万人（2016 年度）。入館料は大人 1,500 円・子供 750 円。 ②波及効果＝18 年間 600 億円の試算は、アリーナ（8,000 席）の 1 年 123 億円との比較・検証が必要。駐車場を含む周辺民間投資の全体像も見えない。 ③市民理解＝240 億円を示さないままのアンケートを意向把握としている。歴史博物館 62 億円・市民文化会館改修 160 億円等と並べた優先順位付けが必要。「当初予算での再開は完全な見切り発車」と述べた。
R5.3.10 観光文化経済委員会	栗田 裕之	議案第 8 号（R4 年度補正予算第 8 号）の修正案を提出。債務負担行為「設計・建設モニタリング等支援業務経費」6,040 万円（R5～7 年度）の削除を求めた。本会議では同じ 8 名の連名で提出。
R5.3.17 本会議（提案理由）	長沼 滋雄	議案第 35 号（R5 年度当初予算）で建設事業 25 億 9,690 万円と関連歳入を減額し、総額 3,517 億円を 3,477 億 1,918 万 1 千円に修正する案を提案。原材料高の中で未来にツケを残す「ハコもの」には慎重な議論と市民への説明が必要、市長選の主な候補予定者がいずれも見直し・精査を求めている、合併後最大規模の事業を今可決強行する正当な理由はない、として新市長の責任で 169 億円の公費支出に見合う事業性と公益性を詰めるべきと求めた。
R5.3.17 本会議（討論）	石井 孝治	産学官が共創する海洋文化の拠点づくりという方針自体は否定しない。ただし 2017 年の基本構想とモントレイ視察復命書が示した 3 視点が現計画に反映されず、計画は未成熟で予測も楽観的と指摘。総事業費 240 億円・年平均 46 万人・波及効果 600 億円、運営費の 2 分の 1 約 70 億円の市負担、落札者選定で事業計画は C 評価が並び価格は 20 点満点中 0 点・応札 1 者であった点を挙げ、一旦立ち止まり新市長の下で予算を組むべきと求めた。

大項目 2 市立清水病院について

(1) ①これまで多くの会議体を設けながら、経営計画と実績の乖離を是正できなかった理由は何か。また、外部委員からどのような指摘があり、市としてどう対応したのか。

静岡市立清水病院 経営指標の推移（H30～R7）

出典：令和4・5・7年度 静岡市病院事業会計決算書 事業報告書「経営指標の推移」に掲載された数値をそのまま転記

R6は令和6年度決算書 事業報告書「(2)経営指標に関する事項」の記載値（議案集⑥ p.37）で照合済。全国平均は総務省「令和6年度地方公営企業等決算の概要」病院事業（法適用企業）。R7の全国平均は未公表。

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常収支比率（％）	101.12	100.04	99.80	105.69	104.37	100.27	90.53	88.10
全国平均（％）	—	—	102.40	106.00	103.40	96.40	93.40	—
修正医業収支比率（％）	76.15	74.73	69.31	73.62	75.04	76.99	70.73	62.95
全国平均（％）	—	—	81.20	83.10	83.00	83.30	81.80	—
病床利用率（％）	77.93	76.48	61.38	66.44	71.42	69.65	63.49	55.72

→ 修正医業収支比率は R5の76.99% をピークに2年で14.04ポイント低下。全国平均は同期間ほぼ横ばい。

→ 病床利用率は R4の71.42% から R7の55.72% へ15.70ポイント低下。コロナ期のR2（61.38%）を下回る水準。

経営計画（令和5～8年度）は「令和8年度末までに実質黒字を達成し、令和12年度までに地方独立行政法人に移行する」としていた。

計画と実績の乖離は次のとおり。

指標	令和7年度 計画	令和7年度 実績
医業収益	112億8,300万円	82億8,287万円
一般会計補助金	3億4,300万円	12億0,000万円
入院単価	60,315円	56,383円
病床利用率	78.10%	55.72%
修正医業収支比率	84.30%	62.95%
医師数	70人	61人
現金保有残高	26億7,607万円	5億6,683万円

（１）②看護師の退職理由を退職時面談等でどのように把握しているか。採用を増やせなかった理由と、これまで講じてきた対応はどのようなか。あわせて、退職者の在籍年数の推移、ハラスメント及び時間外労働に関する内部からの問題提起の有無、過去5年間の相談件数と、事実と認定された事案の有無及び対応状況はどうか。

職員数と診療単価の推移

出典：令和4・5・6・7年度決算書 事業報告書（すべて確定値）。令和6年度は議案集⑥令和6年度公営企業会計決算書p.38「(5)職員に関する事項」で照合済（修正なし）。

項目	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和7年度末
医師（人）	68	66	66	61
看護師（人）	380	356	338	325
医療技術職員（人）	132	131	132	135
事務職員（人）	36	36	37	38
その他（人）	17	18	19	21
職員総数（人）	633	607	592	580

■ 年間の退職者数				
医師 退職者（人）	21	21	19	22
看護師 退職者（人）	34	44	44	35
全職種 退職者（人）	68	75	74	68

■ 診療単価				
入院単価（円）	56,353	57,428	57,848	56,383
外来単価（円）	13,201	14,333	14,302	15,071

■ 令和6年度の採用・退職の内訳（令和6年度決算書 事業報告書(5)職員に関する事項）

職種	令和6年度末	令和5年度末	増減	採用	転入	退職	転出
医師	66	66	0	19	0	19	0
看護師	338	356	△18	26	0	44	0
医療技術職員	132	131	1	6	0	5	0
事務職員	37	36	1	2	10	1	10
その他の職員	19	18	1	6	0	5	0
計	592	607	△15	59	10	74	10

- (1) ③引当金見合いの現金による補てんとは、具体的にどのような処理か。会計上、問題はないのか。また、前倒し執行により、令和8年度末まで補正予算なしに現金を賄えるのか。補正予算による追加措置が必要となる見通しか。
- (2) ⑤職員の退職に当たり退職給付引当金を使うと思うが、その現在額はいくらか、また、十分な額がない場合には、どのように確保することを考えているのか。

資金・貸借対照表の推移（単位:円）

項目	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和7年度末
現金預金	1,099,437,159	1,683,293,381	2,169,377,090	1,348,887,982	566,826,081
未収金	3,460,264,187	3,365,455,111	2,890,264,864	2,488,978,621	2,039,230,300
貸倒引当金	96,757,501	76,741,380	69,560,885	64,624,038	64,646,016
流動資産合計	—	5,026,808,623	5,060,576,430	3,849,147,769	2,601,006,015
流動負債合計	—	2,293,126,160	2,299,703,365	2,154,326,384	2,016,576,860
退職給付引当金	—	1,862,411,354	2,087,037,911	2,289,008,561	2,485,296,208
企業債残高	3,089,137,569	2,818,229,088	2,363,360,885	2,023,930,227	1,751,931,326
リース債務残高	—	1,421,294,804	1,042,999,528	742,848,252	345,016,976
有形固定資産（帳簿価額）	—	8,553,378,937	8,042,901,204	7,558,738,111	6,611,767,162
資産合計	—	14,022,580,819	13,527,289,143	11,812,493,345	9,597,311,223
資本合計	—	6,274,472,346	6,340,245,893	5,119,168,065	3,435,200,013

■ 導出指標					
現金預金／月平均医業費用（か月）	—	1.63	2.14	1.32	0.57
退職給付引当金に対する現金預金の比率	—	90.4%	103.9%	58.9%	22.8%

第4項	基 積 立 金	767,000	△	563,000	0	204,000	0
-----	------------------	---------	---	---------	---	---------	---

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 820,449,397円は、退職給付引当金見合いの現金 820,449,397円で補てんした。

(2) ③指定管理者制度移行後、病院事業会計はどうなるのか。また、累積欠損金や企業債残高の償還は、どのように取り扱うのか。

損益計算書の推移（税抜・単位:円）

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	R4→R7 増減率
入院収益	6,801,622,401	6,778,099,104	6,206,372,455	5,309,739,245	-21.9%
外来収益	2,269,603,407	2,356,878,477	2,279,052,146	2,052,598,329	-9.6%
他会計負担金（医業収益）	657,491,100	660,131,300	678,288,400	704,084,140	+7.1%
その他医業収益	233,231,849	211,190,209	212,768,142	216,451,749	-7.2%
医業収益 計	9,961,948,757	10,006,299,090	9,376,481,143	8,282,873,463	-16.9%
給与費	6,805,005,590	6,566,107,346	6,723,625,677	6,780,521,999	-0.4%
材料費	2,089,075,625	2,136,502,445	2,013,674,099	1,723,797,165	-17.5%
経費	2,575,534,619	2,535,560,451	2,637,496,779	2,620,665,727	+1.8%
うち委託料	1,331,096,408	1,329,736,119	1,361,575,938	1,342,333,628	+0.8%
うち報償費	454,889,604	450,543,857	451,599,059	451,169,119	-0.8%
うち光熱水費	311,809,483	273,871,529	296,899,768	275,046,619	-11.8%
うち修繕費	100,884,127	107,255,921	97,331,699	107,255,921	+6.3%
減価償却費	881,066,639	854,510,279	867,663,905	861,010,226	-2.3%
医業費用 計	12,399,980,926	12,139,969,717	12,297,871,522	12,038,532,982	-2.9%
医業損失	2,438,032,169	2,133,670,627	2,921,390,379	3,755,659,519	+54.0%
医業外収益	3,617,381,741	2,841,380,901	2,295,430,090	2,752,513,452	-23.9%
うち他会計補助金	1,313,851,000	1,299,000,000	1,000,000,000	1,200,000,000	-8.7%
うち他会計負担金	1,190,500,000	1,181,900,000	1,148,200,000	1,185,500,000	-0.4%
うち国庫補助金	9,493,000	8,479,000	9,051,000	181,288,000	+1809.7%
うち県補助金	987,049,520	229,392,200	9,534,162	65,663,828	-93.3%
医業外費用	610,618,033	673,198,109	595,611,866	486,896,389	-20.3%
うち雑損失	514,191,622	587,981,824	△ 516,231,229	△ 418,035,611	-18.7%
経常損失（△は損失）	568,731,539	34,512,165	1,221,572,155	1,490,042,456	
特別利益（固定資産売却益）	0	0	702,753	0	
特別損失	0	0	△ 29,046,000	△ 219,624,927	
当年度純損益（△は損失）	568,731,539	34,512,165	1,249,915,402	1,709,667,383	
当年度未処理欠損金	79,128,147	44,615,982	1,294,531,384	3,004,198,767	+3696.6%
一般会計補助金を除く経常損失（経常ベース）	745,119,461	1,264,487,835	2,221,572,155	2,690,042,456	+261.0%
一般会計補助金を除く純損失（意見書の「実質損益」）	△ 745,119,461	1,264,487,835	2,249,915,402	2,909,667,383	+290.5%

→ 純損益は R4 +5.69億円 → R5 +0.35億円 → R6 12.50億円 → R7 17.10億円。令和6年度が転換点。

■ 企業債の借入・償還の推移（追加：意見書 p.35。単位：千円）

年度	借入額	元金償還額	利子	償還計	未償還残高
令和2年度	150,500	644,736	36,652	681,389	3,452,588
令和3年度	210,400	573,850	33,589	607,440	3,089,137
令和4年度	274,300	545,208	30,626	575,834	2,818,229
令和5年度	111,900	566,768	27,666	594,434	2,363,360
令和6年度	166,500	505,930	24,530	530,461	2,023,930

静岡市立清水病院 経営分析（令和4年度～令和7年度）

■ 出典

- ・ 令和7年度 静岡市病院事業会計決算書（議案集⑥ 令和7年度公営企業会計決算書）
- ・ 令和6年度 静岡市病院事業会計決算書（議案集⑥ 令和6年度公営企業会計決算書 p.27～46）
- ・ 令和6年度 静岡市公営企業会計決算審査意見書（議案集⑦ 病院事業会計 p.29～53）
- ・ 令和5年度／令和4年度 静岡市病院事業会計決算書
- ・ 令和7年度 主要施策成果説明書（議案集④）p.249 病院事業会計繰出金
- ・ 総務省「令和6年度地方公営企業等決算の概要」（令和7年9月30日公表）病院事業 全国平均値

■ 意見書と照合して一致した項目

- ・ 経営成績5か年：医業収益・医業利益・経常利益・当年度損益・一般会計補助金（R4～R6）
- ・ 財政状態：資産合計・資本合計・企業債未償還残高（R4～R6）、貸借対照表の全科目（R5・R6）
- ・ 業務量：入院・外来患者数、病床利用率（R2～R6）、医師数・看護師数（R4～R6）
- ・ キャッシュ・フロー：資金期首2,169,377千円→期末1,348,887千円、3区分の内訳
- ・ 未収金：意見書は貸倒引当金控除後の純額表示。総額-引当金で本資料と一致

■ 指標の定義

- ・ 修正医業収支比率＝（医業収益-他会計負担金）÷医業費用×100
- ・ 医業収支比率（意見書）＝医業収益÷医業費用×100 ※他会計負担金を含むため修正医業収支比率より高く出る
- ・ 総収支比率＝総収益÷総費用×100 ／ 経常収支比率＝経常収益÷経常費用×100
- ・ 実質損益（意見書）＝当年度純損益-収支不足補填のための一般会計補助金
- ・ 実質未収金（意見書）＝決算時点で納期限が経過している債権（貸倒引当金控除前）
- ・ 診療収入＝入院収益＋外来収益（他会計負担金・その他医業収益を含まない）

大項目 2（3）① 清水厚生病院の入院機能がなくなり、市立清水病院を399床の病床規模とした場合、清水区の医療体制はひっ迫するののか。

静岡県内の急性期病院一覧（高度急性期または急性期の許可病床を有する病院）

出典：静岡県「令和6年度病床機能報告集計結果」／2024年7月1日時点・許可病床ベース

No.	二次医療圏	市町	区 (政令市)	医療機関名称	高度急性期 (床)	急性期 (床)	急性期系 計(床)	回復期 (床)	慢性期 (床)	休棟等 (床)	許可病床 合計
1	賀茂	下田市		下田メディカルセンター	0	97	97	33	0	0	130
2	賀茂	東伊豆町		医療法人社団康心会 康心会伊豆東部病院	0	40	40	40	80	0	160
3	賀茂	河津町		公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院	0	54	54	46	0	0	100
4	賀茂	西伊豆町		医療法人社団健育会 西伊豆健育会病院	0	36	36	42	0	0	78
5	熱海伊東	熱海市		医療法人社団伊豆七海会 熱海所記念病院	0	96	96	48	0	0	144
6	熱海伊東	熱海市		国際医療福祉大学熱海病院	6	232	238	31	0	0	269
7	熱海伊東	伊東市		伊東市民病院	14	194	208	42	0	0	250
8	駿東田方	沼津市		医療法人社団親和会 西島病院	0	150	150	0	0	0	150
9	駿東田方	沼津市		一般財団法人芙蓉協会 聖隷沼津病院	0	198	198	48	0	0	246
10	駿東田方	沼津市		沼津市立病院	7	380	387	0	0	0	387
11	駿東田方	沼津市		瀬尾記念慶友病院	0	32	32	42	0	0	74
12	駿東田方	三島市		社会医療法人志仁会 三島中央病院	0	111	111	40	45	0	196
13	駿東田方	三島市		地域医療機能推進機構 三島総合病院	0	109	109	50	0	0	159
14	駿東田方	御殿場市		社会医療法人青虎会 フジ虎ノ門整形外科病院	0	127	127	41	43	0	211
15	駿東田方	御殿場市		公益社団法人有隣厚生会 東部病院	0	60	60	0	0	0	60
16	駿東田方	御殿場市		公益社団法人有隣厚生会 富士病院	56	52	108	52	0	0	160
17	駿東田方	裾野市		裾野赤十字病院	0	55	55	49	0	0	104
18	駿東田方	伊豆市		J A 静岡厚生連 中伊豆温泉病院	0	55	55	173	0	0	228
19	駿東田方	伊豆市		伊豆赤十字病院	0	43	43	0	41	0	84
20	駿東田方	伊豆の国市		伊豆保健医療センター	0	60	60	0	0	37	97
21	駿東田方	伊豆の国市		順天堂大学医学部附属静岡病院	84	544	628	0	0	0	628
22	駿東田方	清水町		医療法人社団宏和会 岡村記念病院	10	55	65	0	0	0	65
23	駿東田方	清水町		国立病院機構 静岡医療センター	18	332	350	0	100	0	450
24	駿東田方	長泉町		静岡県立静岡がんセンター	565	50	615	0	0	0	615
25	駿東田方	小山町		公益社団法人有隣厚生会 富士小山病院	0	39	39	0	57	0	96
26	駿東田方	小山町		自衛隊富士病院	0	50	50	0	0	0	50
27	富士	富士宮市		医療法人社団鵬友会 フジヤマ病院	0	60	60	0	50	0	110
28	富士	富士宮市		一般財団法人 富士脳障害研究所附属病院	40	40	80	45	35	0	160
29	富士	富士宮市		富士宮市立病院	0	380	380	0	0	0	380
30	富士	富士市		医療法人社団秀峰会 川村病院	0	76	76	0	0	0	76
31	富士	富士市		聖隷富士病院	0	82	82	35	0	34	151
32	富士	富士市		共立蒲原総合病院	0	105	105	70	92	0	267
33	富士	富士市		富士市立中央病院	220	284	504	0	0	0	504
34	富士	富士市		富士整形外科病院	0	60	60	46	0	0	106
35	静岡	静岡市	葵区	J A 静岡厚生連 静岡厚生病院	0	170	170	95	0	0	265
36	静岡	静岡市	葵区	しずおか整形外科病院	0	24	24	64	0	0	88
37	静岡	静岡市	葵区	静岡県立こども病院	213	0	213	0	0	30	243
38	静岡	静岡市	葵区	静岡県立総合病院	507	155	662	0	0	0	662
39	静岡	静岡市	葵区	静岡市立静岡病院	349	151	500	0	0	0	500
40	静岡	静岡市	葵区	静岡赤十字病院	164	301	465	0	0	0	465
41	静岡	静岡市	葵区	国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター	0	196	196	0	210	0	406
42	静岡	静岡市	駿河区	静岡済生会総合病院	153	331	484	0	57	37	578
43	静岡	静岡市	駿河区	医療法人徳洲会 静岡徳洲会病院	0	100	100	60	158	101	419
44	静岡	静岡市	清水区	J A 静岡厚生連 清水厚生病院	0	94	94	56	0	0	150
45	静岡	静岡市	清水区	静岡市立清水病院	6	413	419	44	0	0	463
46	静岡	静岡市	清水区	地域医療機能推進機構 桜ヶ丘病院	0	115	115	84	0	0	199
47	志太榛原	島田市		島田市立総合医療センター	93	302	395	40	0	0	435
48	志太榛原	焼津市		社会医療法人駿甲会 コミュニティーホスピタル甲賀病院	0	277	277	130	0	0	407
49	志太榛原	焼津市		岡本石井病院	0	43	43	94	60	0	197
50	志太榛原	焼津市		焼津市立総合病院	62	361	423	0	0	0	423
51	志太榛原	藤枝市		藤枝市立総合病院	137	351	488	0	0	76	564
52	志太榛原	藤枝市		藤枝平成記念病院	0	113	113	0	86	0	199
53	志太榛原	牧之原市		榛原総合病院	0	208	208	90	42	57	397
54	中東遠	磐田市		新都市病院	0	38	38	12	0	0	50
55	中東遠	磐田市		磐田市立総合病院	127	371	498	0	0	0	498
56	中東遠	掛川市		掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター	262	234	496	0	0	0	496
57	中東遠	御前崎市		市立御前崎総合病院	0	79	79	60	54	6	199
58	中東遠	菊川市		菊川市立総合病院	0	118	118	84	0	0	202
59	中東遠	森町		公立森町病院	0	45	45	86	0	0	131
60	西部	浜松市	中央区	J A 静岡厚生連 遠州病院	20	320	340	60	0	0	400
61	西部	浜松市	中央区	聖隷福祉事業団 総合病院聖隷浜松病院	562	188	750	0	0	0	750
62	西部	浜松市	中央区	浜松医療センター	447	153	600	0	0	0	600
63	西部	浜松市	中央区	かば記念病院	0	44	44	0	0	0	44
64	西部	浜松市	中央区	浜松医科大学医学部附属病院	482	94	576	0	0	0	576
65	西部	浜松市	中央区	労働者健康安全機構 浜松労災病院	6	306	312	0	0	0	312
66	西部	浜松市	中央区	浜松北病院	0	107	107	32	60	0	199
67	西部	浜松市	中央区	医療法人社団松愛会 松田病院	0	60	60	0	0	0	60
68	西部	浜松市	中央区	医療法人弘遠会 すずかけセントラル病院	0	87	87	106	116	0	309
69	西部	浜松市	中央区	医療法人社団綾和会 浜松南病院	0	50	50	100	0	0	150
70	西部	浜松市	中央区	聖隷福祉事業団 総合病院聖隷三方原病院	526	87	613	27	170	0	810
71	西部	浜松市	浜名区	十全記念病院	0	95	95	100	104	0	299
72	西部	浜松市	浜名区	国立病院機構 天竜病院	0	32	32	0	226	0	258
73	西部	浜松市	浜名区	浜松赤十字病院	12	300	312	0	0	0	312
74	西部	浜松市	天竜区	浜松市国民健康保険 佐久間病院	0	36	36	0	0	0	36
75	西部	湖西市		医療法人宝美会 浜名病院	0	49	49	0	44	40	133
76	西部	湖西市		市立湖西病院	0	101	101	0	0	95	196
				合計	5,148	11,037	16,185	2,397	1,930	513	21,025

※ 病床機能報告は一般病床・療養病床が対象。精神病床のみの病院（精神科病院等）は含まれない。
※ 医療機能は各医療機関が定性的基準により自主的に選択・報告したもの。「急性期系計」＝高度急性期＋急性期（当方算出）。
※ 有床診療所（137施設）は本表に含めていない（病院139施設のうち該当分のみ掲載）。

大項目2（3）① 清水厚生病院の入院機能がなくなり、市立清水病院を399床の病床規模とした場合、清水区の医療体制はひっ迫するのか。

静岡県35市町別 人口・急性期病院数・急性期病床数（人口10万人あたり）

人口：静岡県「令和8年8月市区町別推計人口」2026年8月1日現在 / 病床：令和6年度病床機能報告（2024年7月1日・許可病床ベース）

市町	人口 (人)	急性期病院数 (施設)	高度急性期 (床)	急性期 (床)	急性期系 計(床)	人口10万人あたり 急性期系病床数	人口10万人あたり 急性期病院数	県平均を100と した指数(病床)
沼津市	178,121	4	7	760	767	430.6	2.2	91.6
熱海市	31,145	2	6	328	334	1,072.4	6.4	228.1
三島市	102,241	2	0	220	220	215.2	2.0	45.8
伊東市	60,444	1	14	194	208	344.1	1.7	73.2
下田市	17,607	1	0	97	97	550.9	5.7	117.2
伊豆市	25,412	2	0	98	98	385.6	7.9	82.0
伊豆の国市	43,906	2	84	604	688	1,567.0	4.6	333.4
東伊豆町	9,954	1	0	40	40	401.8	10.0	85.5
河津町	6,045	1	0	54	54	893.3	16.5	190.0
南伊豆町	6,856	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
松崎町	5,095	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
西伊豆町	5,901	1	0	36	36	610.1	16.9	129.8
函南町	34,400	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
富士宮市	118,122	3	40	480	520	440.2	2.5	93.7
富士市	236,173	5	220	607	827	350.2	2.1	74.5
御殿場市	80,776	3	56	239	295	365.2	3.7	77.7
裾野市	47,086	1	0	55	55	116.8	2.1	24.8
清水町	30,894	2	28	387	415	1,343.3	6.5	285.8
長泉町	43,212	1	565	50	615	1,423.2	2.3	302.8
小山町	16,940	2	0	89	89	525.4	11.8	111.8
静岡市	655,298	12	1,392	2,050	3,442	525.3	1.8	111.7
島田市	90,608	1	93	302	395	435.9	1.1	92.7
焼津市	129,848	3	62	681	743	572.2	2.3	121.7
藤枝市	133,431	2	137	464	601	450.4	1.5	95.8
牧之原市	39,768	1	0	208	208	523.0	2.5	111.3
吉田町	27,730	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
川根本町	5,113	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
浜松市	760,935	15	2,055	1,959	4,014	527.5	2.0	112.2
磐田市	159,245	2	127	409	536	336.6	1.3	71.6
掛川市	111,039	1	262	234	496	446.7	0.9	95.0
袋井市	85,987	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
湖西市	54,730	2	0	150	150	274.1	3.7	58.3
御前崎市	28,097	1	0	79	79	281.2	3.6	59.8
菊川市	45,282	1	0	118	118	260.6	2.2	55.4
森町	15,663	1	0	45	45	287.3	6.4	61.1
県計（35市町）	3,443,104	76	5,148	11,037	16,185	470.1	2.2	100.0

【参考】政令指定都市の区別内訳

市町	人口 (人)	急性期病院数 (施設)	高度急性期 (床)	急性期 (床)	急性期系 計(床)	人口10万人あたり 急性期系病床数	人口10万人あたり 急性期病院数
静岡市葵区	236,889	7	1,233	997	2,230	941.4	3.0
静岡市駿河区	204,359	2	153	431	584	285.8	1.0
静岡市清水区	214,050	3	6	622	628	293.4	1.4
浜松市中央区	588,137	11	2,043	1,496	3,539	601.7	1.9
浜松市浜名区	149,636	3	12	427	439	293.4	2.0
浜松市天竜区	23,162	1	0	36	36	155.4	4.3

※「急性期病院数」＝高度急性期または急性期の許可病床を1床以上有する病院の数。
※ 病床数が0の市町（袋井市・吉田町・川根本町・南伊豆町・松崎町・函南町）にも回復期・慢性期機能の病院や有床診療所は存在する。
※ 中東遠総合医療センターは掛川市・袋井市の企業団立だが、所在地は掛川市のため掛川市に計上。

大項目 2（3）① 清水厚生病院の入院機能がなくなり、市立清水病院を399床の病床規模とした場合、清水区の医療体制はひっ迫するのか。

静岡県 一般診療所（開業医）数と人口10万人あたり施設数

出典：静岡県「診療所名簿（令和8年4月1日現在）」／人口：令和8年8月市区町別推計人口

★重要：静岡県が公表する診療所数は「保健所管轄区域別」のみで、35市町ごとの内訳は公表されていない。下表は管轄区域単位の集計。

保健所（管轄区域）	管内市町	一般診療所数 （施設）	うち有床 （施設）	診療所の 病床数(床)	管内人口 （人）	人口10万人あたり 一般診療所数	県平均を100と した指数
賀茂保健所	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町	52	3	28	51,458	101.1	126.2
熱海保健所	熱海市、伊東市	84	4	53	91,589	91.7	114.6
東部保健所	沼津市、三島市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町	398	31	260	505,272	78.8	98.4
御殿場保健所	御殿場市、小山町	55	4	51	97,716	56.3	70.3
富士保健所	富士市、富士宮市	270	18	173	354,295	76.2	95.2
静岡市保健所	静岡市	571	19	179	655,298	87.1	108.9
中部保健所	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	304	9	91	426,498	71.3	89.0
西部保健所	磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、森町、湖西市	357	12	146	500,043	71.4	89.2
浜松市保健所	浜松市	665	27	302	760,935	87.4	109.2
県計	35市町	2,756	127	1,283	3,443,104	80.0	100.0

※「一般診療所」＝内科の診療所（無床＋19床以下の有床）。歯科診療所（県計1,685施設）は除く。いわゆる「開業医」に最も近い統計。

※ 市町ごとの診療所数が必要な場合は、県公表の「一般診療所一覧」PDF（全2,756施設・所在地付き）を市町別に集計する必要がある。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/iryo/1023838.html>

出典・作成上の注記

1. 急性期病院・病床数

資料名	静岡県「令和6年度病床機能報告集計結果」 医療機関別の医療機能ごとの病床の状況【2024年】
基準時点	2024年（令和6年）7月1日時点／許可病床ベース
URL	https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/iryo/chiikiiryokousou/1040332/1077649/1077650.html
報告率	病院139施設・有床診療所137施設ともに報告率100.0%
定義	「急性期病院」は、高度急性期または急性期の許可病床を1床以上有する病院と定義（該当76病院）。
留意点	医療機能は各医療機関が定性的基準に基づき自主的に選択したもの。同じ機能でも報告が異なる場合がある。
留意点	病床機能報告の対象は一般病床・療養病床のみ。精神病床のみの病院は集計外。

2. 人口

資料名	静岡県統計活用課「令和8年8月市区町別推計人口」
基準時点	2026年（令和8年）8月1日現在／令和7年国勢調査人口等速報集計を基礎とした推計
URL	https://toukei.pref.shizuoka.jp/chosa/02-030/index.html
県計	3,443,104人（35市町合計）

3. 一般診療所（開業医）

資料名	静岡県「診療所名簿（令和8年4月1日現在）」 診療所数及び使用許可病床の状況
基準時点	2026年（令和8年）4月1日現在
URL	https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/iryo/1023838.html
県計	一般診療所2,756施設（うち有床127施設・病床1,283床）／歯科診療所1,685施設は除外
制約	県公表統計は保健所管轄区域別のみ。35市町別の内訳は公表されていないため、シート3は保健所単位。

4. 算出方法

急性期系病床	高度急性期病床＋急性期病床（本ファイルで算出）
人口10万人あたり	（病床数または施設数）÷人口×100,000
指数	各市町の人口10万人あたり値 ÷ 県平均値 × 100
作成日	2026年9月7日

大項目 4 (1) ③ 富士見台・西大谷地区は今後どのように進めていくのか。

